

PHARM TECH JAPAN

製剤技術とGMPの最先端技術情報サイト

ONLINE

MEDIA GUIDE

「PHARM TECH JAPAN」は、1985年の創刊以来、
医薬品の製造・品質管理・製剤技術に関するわが国唯一の専門誌として情報提供を行っております。
この度、専門誌「PHARM TECH JAPAN」に加え、WEBサイト「PHARM TECH JAPAN ONLINE」をオープンさせていただき、
これまで1カ月ごとにしかお届けできなかった情報を、より迅速に業界の最新トピックスとして無料にてお届けしていきます。

雑誌 PHARM TECH JAPAN × PHARM TECH JAPAN ONLINE

2つの媒体でお届けする最先端情報！



雑誌
PHARM TECH JAPAN

最先端情報 ×
専門家による解説

で、深い知識を提供

GMP、製剤技術、ICHやPIC/Sなどの関連
ガイダンス情報を網羅し、各専門家による質
の高い記事を中心に編集し、読者の業務を
支える“知識”を提供します。

PHARM TECH JAPAN
ONLINE



業界トピック速報 ×
独自コンテンツ

で、素早く情報を提供

ガイダンスやGMP査察の情報などの概要を
速報することで、読者の“情報”へのアクセ
ス向上に貢献するとともに、雑誌への内容
理解をより深めます。

Web版の特長

① 無料の会員登録で、業界トピックやガイドラインの最新情報にいち早くアクセス！

配信コンテンツ(予定)

- ガイドラインの最新動向
- GMP査察による警告書発出情報
- 医薬品の回収情報
- 関連学会のイベントの開催情報
- 製剤技術関連論文のサマリー
- 企業の製品情報や最新トピックスの紹介

② 雑誌版「PHARM TECH JAPAN」の過去記事の閲覧が可能に！

- 過去記事検索機能で、知りたい情報を簡便に調べることができます。
- バックナンバーのPDFが閲覧可能になることで、雑誌の長期保管の手間などを削減します。
※過去記事閲覧サービスは有料のオプションサービスとなります。

■ ページビュー & ユニークユーザー (2018年3月集計)

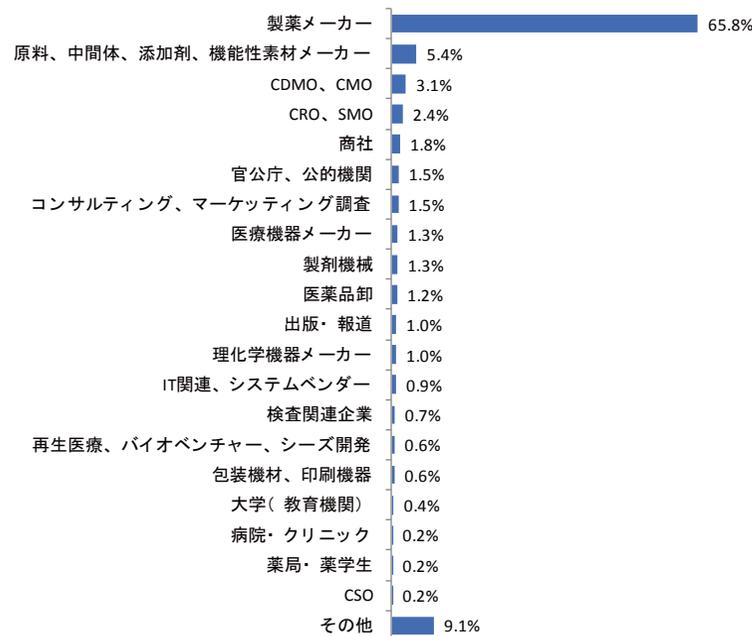
・月間ページビュー 154,405 ・月間ユニークユーザー 13,227

◆ 会員数 & メール配信数 (2018年4月10日時点)

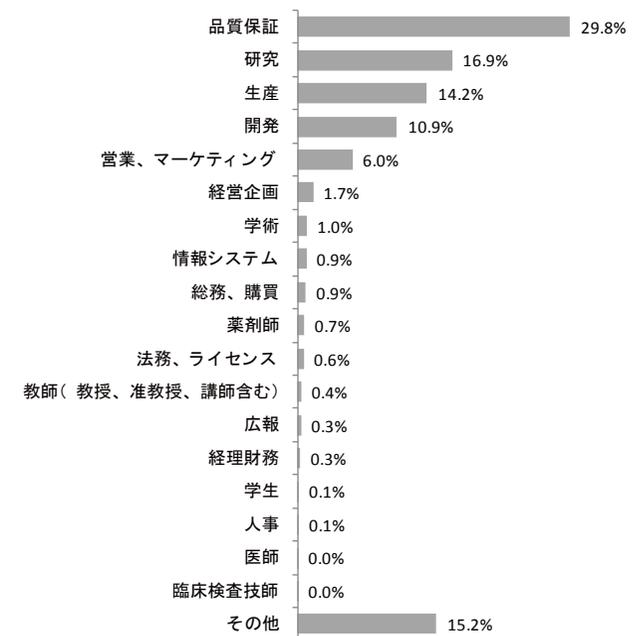
・会員数 4,505 ・メール配信数 4,072

一読者プロフィール(全体)

【業種】

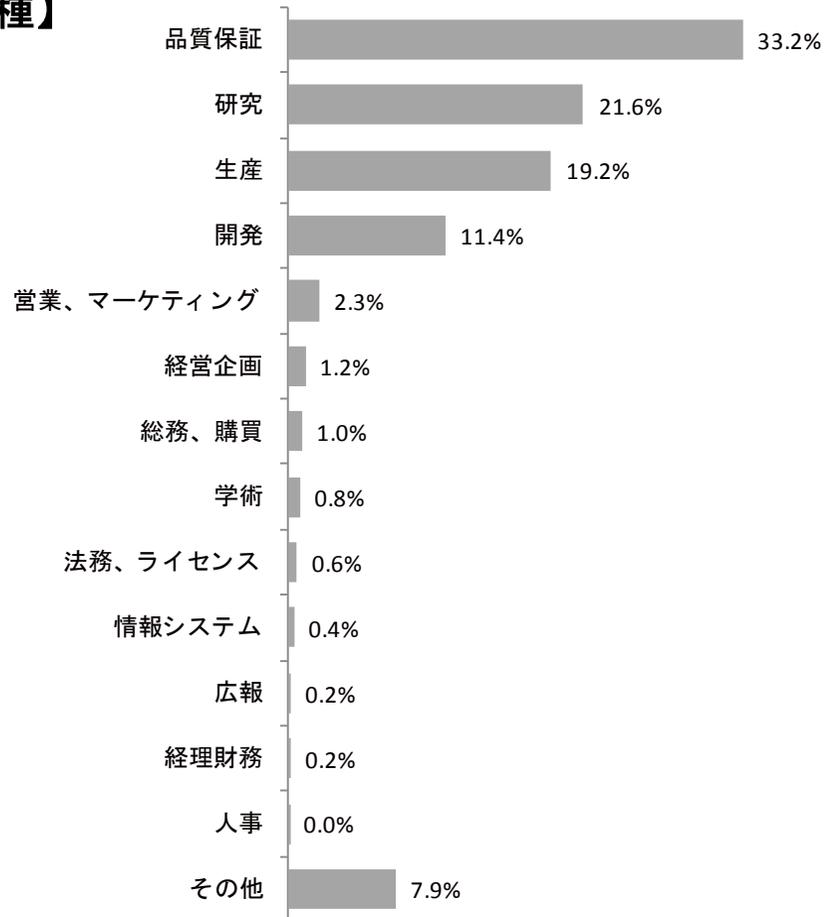


【職種】

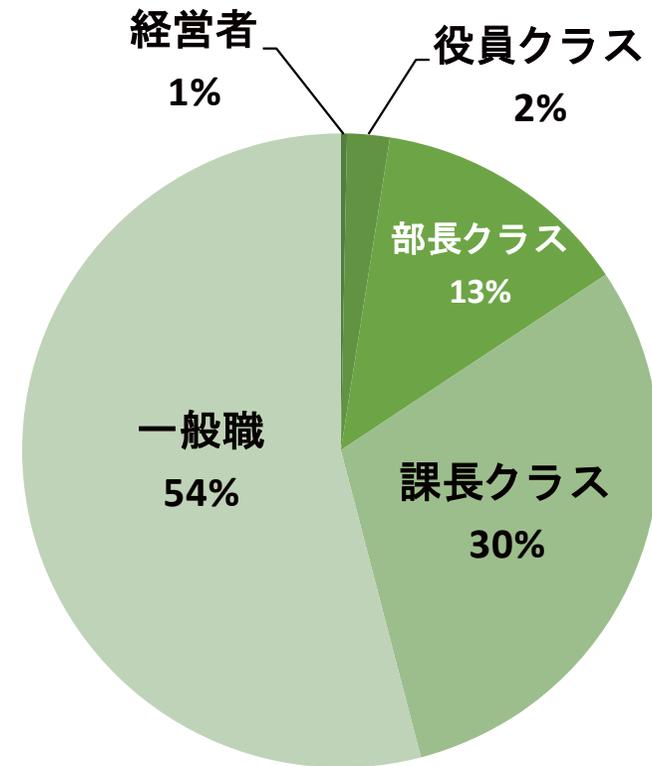


— 読者プロフィール(製薬メーカー) —

【職 種】



【役 職】



メニュー	枠数	表示場所	掲載期間	単価(税別)
①サイト上段バナー	1	全ページ	1ヵ月	250,000円
②レクタングルバナー	2	全ページ	1ヵ月	220,000円
③右下段バナー	5	全ページ	1ヵ月	100,000円
④テキスト広告	3	①TOPICS&CONTENTS内(TOP、記事下) ②企業/製品・サービス内(TOP)	2週間	70,000円
⑤メルマガ テキスト広告	2	メール本文上段	3回 (月・水・金)	50,000円
⑥雑誌連動型記事広告	4	雑誌 + ONLINE	10営業日	別紙参照

2018年3月時点

① サイト上段バナー広告

The screenshot shows the PHARM TECH JAPAN website interface. At the top, there's a navigation bar with 'TOPICS & CONTENTS' and '企業 / 製品・サービス'. Below that, there are tabs for 'トピックス', '特集・連載', 'ARTICLES', '取材・インタビュー', 'その他の記事', '学会・イベント情報', and '雑誌記事検索'. The main content area is titled '新着記事' and features several article teasers with images and titles, such as 'レギュラトリーサイエンスと新規製造技術' and '富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始'. On the right side, there are promotional banners for '製剤技術とGMPの最先端技術情報誌' and 'Q&Aで学ぶ データインテグリティ'. The bottom of the page includes social media links for Facebook and a 'お問い合わせ' section.

掲載料金	250,000円(税別)
表示場所	全ページ
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	1枠
サイズ	700×80ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

②レクタングルバナー広告

PHARM TECH JAPAN
製剤技術とGMPの最先端技術情報サイト ONLINE

PIC/Sをはじめグローバルに役立つ
FDA査察

良い結果を出すための
ポイント 第2版

TOPICS & CONTENTS

企業 / 製品 / サービス

トピックス 特集・連載 ARTICLES 取材・インタビュー その他の記事 学会・イベント情報 雑誌記事検索

検索

ログイン

会員登録 (無料)

メニュー

新着記事

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術②
PMDA松田氏が連続生産実現への課題を整理 2018/02/09

2018年2月5日に東京都内のよみうり大手町ホールで開催された第3回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウムで昨今注目を集める新規技術「連続生産」に関する講演が行われた。講演はPMDAスペシャリストの松田直弘氏。前編にて、ICH品質ガイドラインの変遷と国内の薬事法改正（2005年）に伴う医薬品品質の（ラタイムシフト）について、松田氏の講演をまとめた。本編では引き続き、同氏に...

富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始 2018/02/09

FDA、元素不純物情報を早期に提供するよう呼びかけ 2018/02/09

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術①
医薬品品質保証の概念変化 2018/02/08

MHRA Inspectorate
直前もしくは予告なしでの査察実施について Part 2 2018/02/08

【PR】 インターフェックス大版 注目出席企業 Part1
【PR】 インターフェックス大版 注目出席企業 Part2
【PR】 インターフェックス大版 注目出席企業 Part3

連続生産技術が変える医薬品製造
2017年9月3日発行号

facebook
ファームテックジャパン公式フェイスブックページ

【特集】 インターフェックス大版2018



中外製薬のバイオ医薬品生産～現在、そして次世代～（山田秀雄氏・中外製薬株式会社）

Q. 医薬品生産を必要とする環境が変わりつつありますが、バイオ医薬品の生産面で期待はどのように対応しているのでしょうか。ブロックチェーンの発展が難しくなるなか、医薬品生産のあり方も変わってきています。この...

【特集】 ICHジュネーブ会合2017

ICH、ジュネーブ会合の報告書を公開
2018年1月31日付でICHは、「The ICH Assembly and MC Reports from the Geneva meeting, November 2017, available ...」

【連載】 統計的考察への入口



QC7道具とは
●データの可視化の方法 データを可視化するためのツールに、QC7道具があります。日常業務で使われる機会も多いかと思いますが、以下に紹介します。(1) Pareto図 状態などを分類して件数の多いものを...

【書籍紹介】 固形医薬品の抽出

●書籍のポイント 固形医薬品の抽出技術をより深く理解するためのバイブル。固形医薬品の抽出生産・製造することで、さまざまな期待を示す資料を得ることが出来ます。すなわち、いかに抽出を変化させ白濁と...

編集者コラム

「品質」との出会い
私が「品質」関連の仕事に就いたのは、今から●年前（おのずかく前）のこと。それまで勤めていた製薬会社から移入の株式会社に入社し、薬事・品質担当として高くなって、学生時代には役員と経験を蓄けていた薬事法（...）

行政資料

Data Standards Strategy FY2018-FY2022 Center for Biologics Evaluation and Research (CBER) Center for Drug Evaluation and Research (CDER) (2018/02/05)

Draft guideline on safety and efficacy follow-up and risk management of advanced therapy medicinal products - Rev. 1 (2018/02/01)

プレスリリース

富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始 (2018/02/08)

Strengthened guidance on follow-up and risk management for ATMP developers. (2018/02/01)

アクセスランキング

- レギュラトリーサイエンス・インシニアティブを推進、再生医療・中薬の専門家
- なぜ不適合品は発生するのか
- 製剤で医薬品は1週間連続検査体制

掲載料金	220,000円(税別)
表示場所	全ページ
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	2枠
サイズ	300×170ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

③右下段バナー広告

安全な細胞治療法の確立へ
先端医療振興財団、iPS細胞やES細胞の分化能を決定する因子を同定 2018/02/14

TGAが電子申請に関する情報更新 2018/02/14

連続生産等をテーマにIFPAC 2018がワシントンで開催 2018/02/14

PLCM (製薬) 研究会 第12回シンポジウム開催
口腔内速崩錠等の現状と展望 2018/02/13

【PR】【期間】3/13 東京 分析法/メソッド開発者セミナー (DocE, 李剛, デザインスペース)
【PR】インターフェックス大阪 往社社員企業 Part1
【PR】インターフェックス大阪 往社社員企業 Part2

PHARM TECH JAPAN 2017年9月開催分

連続生産技術が変える医薬品製造

facebook
「ファームテックジャパン」のフェイスブックページ

【特集】 これからのレギュラトリーサイエンスを考える
【特集】 インターフェックス大阪2018

PMDA松田氏が連続生産実現への課題を挙げる
2018年2月5日に東京で行われた「第3回日本製薬研究開発者向けレギュラトリーサイエンスに関するシンポジウム」で松田氏が講演した内容をまとめた記事が「製薬未来」に関する掲載が行われた。掲載は...続き 2018/02/09

【特集】 海外当局、2017年総括と今後の計画
2017年の医薬用医薬品承認までの期間は255営業日以内
2018年2月9日付でオーストラリア製薬局(薬品・医薬品行政庁 (TGA))は、2017年にTGAが承認した医薬品の承認期間を、すべて2017年255営業日以内であったと発表している。『All TGA appr...続き 2018/02/13

【特集】 Brexit —英国EU離脱—
EMA、製薬企業のBrexitへの準備についての調査を支持
欧州医薬品庁 (European Medicines Agency; EMA) は、企業のBrexitへの対応準備に関する情報を収集するための調査を実施している。2018年1月23日付で発出した「EMA...続き 2018/01/29

【書籍紹介】 連続生産技術が変える医薬品製造
●最新のボイント連続生産を取り巻く現状を整理し、最新の規制の準備をまとめた1冊! 単独の施設設備が少なく、統合された製造工程の実用により、設備のロススペース化や競争に優れたフレキシブルな生産体制を構築でき...続き 2017/09/29

過去の記事
MHRA Inspectorate
GMDPシンポジウム2017 2018/02/14

安全な細胞治療法の確立へ
先端医療振興財団、iPS細胞やES細胞の分化能を決定する因子を同定 2018/02/14

TGAが電子申請に関する情報更新 2018/02/14

連続生産等をテーマにIFPAC 2018がワシントンで開催 2018/02/14

PLCM (製薬) 研究会 第12回シンポジウム開催
口腔内速崩錠等の現状と展望 2018/02/13

【開催案内】
日本薬学会第138年会特別企画 創薬特ライサイエンス研究支援基盤事業 (BINDS) ワークショップ 2018/02/13

オーストラリアTGAが発表
2017年の医薬用医薬品承認までの期間は255営業日以内 2018/02/13

FIRM、第5回ベンチャー創薬支援セミナーを開催 2018/02/13

FDA、Warning Letters 2018更新 2018/02/13

sartorius stedim
ICH Q3D への対応、
サプライヤーの適格性評価に
お悩みですか?

編集者コラム
「品質」との出合い
私が「品質」関係の仕事に就いたのは、今から●年前(右のすぐ前)のこと。それまで勤めていた製薬会社から輸入化粧品会社に転職し、薬事・品質部門に配属になって、学生時代に経験と授業を受けていた薬事法(…続き (2018/01/26)

薬効別・会社別 新薬開発一覧
2017年10月版
◇ 行政資料
薬事発0201第7号 「新薬の再評価承認申請書の改訂について(その2)」 (2018/02/01)
薬事発0201第10号 「医薬品製造販売用医薬品承認申請書の改訂について(その2)」 (2018/02/01)
◇ フレズリクス
第十フェイルムと第三高品質 内閣府から総務省を用いた再生医療製品の共同承認に向けた取り組みを掲載 (2018/02/08)
Strengthened guidance on follow-up and risk management for ATMP developers (2018/02/01)

アクセスランキング
1 レギュラトリーサイエンス イニシアティブを推進 厚生労働省・中薬協が発表
2 AMEDが総務省長、「日本のレギュラトリーサイエンスが世界をリードするために」
3 欧州における医薬品規制強化と対応強化
4 医薬品製造現場、日中17第一週報などについて報告
5 PMDA松田氏の連続生産実現への課題を整理

掲載料金	100,000円(税別)
表示場所	全ページ
掲載期間	1ヶ月(1日～末日)
枠数	5枠
サイズ	300×70ピクセル
容量	150KB以内 ※アニメーションは30秒以内
形式	JPG、PNG、GIF

入稿締切:5営業日前

PHARM TECH JAPAN
最先端技術とGMPの最先端技術情報サイト **ONLINE**

PIC/Sをはじめグローバルに役立つ
FDA 査察

良い結果を出すための
ポイント 第2版

TOPICS & CONTENTS

企業 / 製品・サービス

トピックス 特集・連載 ARTICLES 取材・インタビュー その他の記事 学会・イベント情報 雑誌記事検索

検索

ログイン

会員登録 (無料)

メニュー

製剤技術とGMPの最先端技術情報誌

PHARM TECH JAPAN

Q&Aで学ぶ **データインテグリティ**

新着記事

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術②
PMDA松田氏が連続生産実現への課題を整理 2018/02/09

2018年2月5日に東京都内のよみうり大手町ホールで開催された第3回日本薬理研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウムで昨今注目を集める新規技術「連続生産」に関する講演が行われた。演者はPMDAスペシャリストの松田直弘氏。前編にて、ICH品質ガイドラインの変遷と国内の薬事法改正（2005年）に伴う医薬品品質のバラティムシフトについて、松田氏の講演をまとめた。本稿では引き続き、同氏に ...続き

富士フィルムと武田薬品、再生医療等製品の共同事業化に向けた取り組み開始 2018/02/09

FDA、元素不純物情報を早期に提供するよう呼びかけ 2018/02/09

レギュラトリーサイエンスと新規製造技術①
医薬品品質保証の概念変化 2018/02/08

MHRA Inspectorate
直前もしくは予告なしでの査察実施について Part 2 2018/02/08

【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企業 Part1

【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企業 Part2

【PR】 インターフェックス大版 注目企業 企業 Part3

PHARM TECH JAPAN 連続生産技術が変える **医薬品製造**

facebook フェームテックジャパン公式フェイスブックページ

【特集】 インターフェックス大版2018

中外製薬のバイオ医薬品生産～現在、そして次世代～(山田秀雄氏・中外製薬株式会社)

Q. 医薬品生産に必要な環境が変わりつつありますが、バイオ医薬品の生産面で現状はどのように対応しているのでしょうか。ブロック/スターの構築が難しくなるなか、医薬品生産の取り組みも変わってきています。この ...続き 2018/01/31

【国議会】連続生産の現状と今後の課題を探る(後編)

【竹内】フゼン氏に連続生産が実現で注目されてきた背景などについてお話を伺いました。医薬品業界にとって新しい技術であるPATが現場にも浸透し、なかなか浸透しづらい状況だったことが理解できました。 ...続き 2018/02/02

【速報】統計的思考への入口

QC7ツールのとは

●データの可視化の方法 データを可視化するためのツールに、QC7ツールがあります。日常業務で触れる機会も多いかと思いますが、以下に紹介します。(1)パレート図 故障などを分類して件数の多いものを左 ...続き 2018/01/26

PHARM TECH JAPAN 2017年9月30日発行

【特集】 ICHジュネーブ大会2017

ICH、ジュネーブ会合の報告書を公開

2018年1月31日付でICHは、「The ICH Assembly and MC Reports from the Geneva meeting, November 2017, available ...続き 2018/02/02

ファームテックジャパン2月号の目どころ

●2月号のポイント特集「ICH品質保証(Q&A)」つき！注目記事：PIC/S-GMP Annex 1 改訂ラフの特集！2月号はPLM (経典) 研究会が発表した4月号「ICH品質保証 Q&A ...続き 2018/01/01

【書籍紹介】 固形医薬品の抽出

●書籍のポイント 固形医薬品の抽出技術をより深く理解するためのノウハウ。固形医薬品の抽出を促進・制御することで、さまざまな体内動態を示す製剤を開発することができます。すなわち、いかに抽出を変化させ制御と ...続き 2017/11/26

掲載料金	70,000円(税別)
表示場所	<p>① TOPICS&CONTENTS 内 ⇒ TOP、記事詳細下</p> <p>② 企業/製品・サービス 内 ⇒ TOP</p>
掲載期間	2週間
枠数	3枠
文字数	40文字以内 (全角・半角問わず)

入稿締切: 5営業日前

【PTJ ONLINE】更新記事メール

※先週金曜 AM6:30～本日 AM6:30 までの最新ニュースです。
 ※PHARM TECH JAPAN ONLINE「登録会員（無料）」にご登録いただいた方へ
 配信しています。

—【PR】—

◆じほう 薬局・薬剤師セミナー2018 申込受付中！

地域包括ケア時代に生き残る“かかりつけ薬剤師・薬局”
 ～「2018 年度調剤報酬改定」と「患者のための薬局ビジョン」実現にむけて～
<http://entry.jiho.jp/seminarrx/>

2018 年 3 月 18 日（日）12:20～17:00 日本橋三井ホール（東京・日本橋室町）

— 更新記事一覧 —

- ◇ 医薬品添加剤規格、日局 17 第一追補などについて報告
 2018 年 1 月 30 日、都内にて第 17 回医薬品添加剤セミナーが開催された。そのなかで、
 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課の大原拓氏が「最近の薬事行政について」
 と題して講演。医薬品添加物規格（……
 》 <http://c.jiho.jp/c.p?02czKhudd>
- ◇ 高機能品生産技術の開発で新たな価値を創る
 》 <http://c.jiho.jp/c.p?12czKhudd>
- ◇ EMA、ATMP に関するガイドライン改訂のパブコメ募集
 》 <http://c.jiho.jp/c.p?22czKhudd>
- ◇ 加圧式医薬品注入器等の承認基準改正
 》 <http://c.jiho.jp/c.p?32czKhudd>
- ◇ 第 31 回 インターフェックス ジャパン
 》 <http://c.jiho.jp/c.p?42czKhudd>

掲載料金 50,000円(税別)

配信数 別紙

配信回数 月・水・金(8:30前後)
 (1週間に3回掲載)

枠数 2枠

文字数 タイトル:35文字以内
 本文:105文字以内

入稿締切:5営業日前

『PHARM TECH JAPAN(雑誌版)』と、『PHARM TECH JAPAN ONLINE』に記事体広告を掲載。
ご要望に合わせ、取材～原稿作成まで弊社で実施します。

●WEB版 掲載イメージ

PHARM TECH JAPAN ONLINE
製剤技術とGMPの最先端技術情報サイト

FDA 査察 良い結果を出すためのポイント

TOPICS & CONTENTS 企業 / 製品 / サービス

トピックス 特稿・連載 ARTICLES 最新インタビュー その他の記事 学会・イベント情報 雑誌記事検索

文書管理におけるデータインテグリティ強化

医薬品製造の文書管理業務をサポートするPerma Documentはリリースから8年、その信頼性とユーザーフレンドリーな操作性が評価され、世界中の製薬企業から注目を集めています。インターネットを通じてソフトウェアを利用するSaaS (Software as a Service) 型サービスで、厚生労働省のGMP 施設や21CFR Part11に準拠、製薬業界では最も利用されている。2017年9月9日に発表されたPerma Documentのセミナーでは、野村総合研究所と共同開発されたPerma Documentの最新機能、製造分野品質保証においてデータインテグリティが注目されるなか、プラットフォーム(クラウド)の管理・運用に特化したPerma Documentの活用方法を、実際の入力画面などを示しながら解説した。

■新開発したプラットフォームは、発行したものをすべてを管理できる
2016年にリリースされたデータインテグリティに関するドラフトガイドラインDRAFT ICH Q10 Good Practices for Data Management and Integrity in Regulated GMP/CDP Environmentsには、「DocuDocはデータインテグリティを確保するための鍵である」と記されていることを両氏は指摘、このことがプラットフォームの強みと見做している。また、「ドキュメントの履歴は紙でも電子であっても原則は両方に適用される」とされているが、両ドラフトガイドラインにおける紙と電子履歴の両方に適用されたこと、必ずしも必要とされていないが、さらに、両氏は両社の顧客から「プリント収数管理ができない」、「コピーができないようにプリントアウトしない」といった要望を受けることから、両社にそのような管理の必要があると確認する。ICH Q10 Part 11のドラフトガイドラインに記されている。その結果、「プラットフォームの発行セットが発行される。発行されたドキュメントは必ずしも、不完全または誤ったフォームは承認に記載された記録とともに保存されるべき」ということを確認した。

続いて、実際にこのようなことが現場標準となっているかを検証するために、両氏は両社のセミナー参加者へアンケートを行った(表)。この結果から、いずれの両社からもデータインテグリティについて90%のガイダンスが「ドキュメントの発行セット」で確認し、十分な信頼性をもって発行されていることが判明した。これらの結果について、両社では紙ベースGMPを使用している場合は、表の①、②、③で確認がわかり、

項目	野村総合研究所	野村総合研究所	野村総合研究所	野村総合研究所	野村総合研究所
1. 発行されたドキュメントの履歴は紙でも電子でも原則は両方に適用される	4	4	4	4	4
2. ドキュメントの発行セットが発行される	4	4	4	4	4
3. ドキュメントの発行セットが発行される	4	4	4	4	4

※ 野村総合研究所のアンケート結果

「読者」への出会い
私が「読者」記事の執筆に際しては、今や「読者」のニーズが「読者」のニーズ。それまででいた製薬会社から製薬会社に「読者」記事「読者」記事になって、学業時代に執筆と読者に向けている記事(「読者」2018/01/25)

行先情報
Data Standards Strategy FY2018-FY2022 Center

●雑誌版 掲載イメージ(2P)

野村総合研究所
文書管理におけるデータインテグリティ強化

医薬品製造の文書管理業務をサポートするPerma Documentはリリースから8年、その信頼性とユーザーフレンドリーな操作性が評価され、世界中の製薬企業から注目を集めています。インターネットを通じてソフトウェアを利用するSaaS (Software as a Service) 型サービスで、厚生労働省のGMP 施設や21CFR Part11に準拠、製薬業界では最も利用されている。2017年9月9日に発表されたPerma Documentのセミナーでは、野村総合研究所と共同開発されたPerma Documentの最新機能、製造分野品質保証においてデータインテグリティが注目されるなか、プラットフォーム(クラウド)の管理・運用に特化したPerma Documentの活用方法を、実際の入力画面などを示しながら解説した。

■新開発したプラットフォームは、発行したものをすべてを管理できる
2016年にリリースされたデータインテグリティに関するドラフトガイドラインDRAFT ICH Q10 Good Practices for Data Management and Integrity in Regulated GMP/CDP Environmentsには、「DocuDocはデータインテグリティを確保するための鍵である」と記されていることを両氏は指摘、このことがプラットフォームの強みと見做している。また、「ドキュメントの履歴は紙でも電子でも原則は両方に適用される」とされているが、両ドラフトガイドラインにおける紙と電子履歴の両方に適用されたこと、必ずしも必要とされていないが、さらに、両氏は両社の顧客から「プリント収数管理ができない」、「コピーができないようにプリントアウトしない」といった要望を受けることから、両社にそのような管理の必要があると確認する。ICH Q10 Part 11のドラフトガイドラインに記されている。その結果、「プラットフォームの発行セットが発行される。発行されたドキュメントは必ずしも、不完全または誤ったフォームは承認に記載された記録とともに保存されるべき」ということを確認した。

続いて、実際にこのようなことが現場標準となっているかを検証するために、両氏は両社のセミナー参加者へアンケートを行った(表)。この結果から、いずれの両社からもデータインテグリティについて90%のガイダンスが「ドキュメントの発行セット」で確認し、十分な信頼性をもって発行されていることが判明した。これらの結果について、両社では紙ベースGMPを使用している場合は、表の①、②、③で確認がわかり、

No.	項目	野村総合研究所	野村総合研究所	野村総合研究所	野村総合研究所
①	発行されたドキュメントの履歴は紙でも電子でも原則は両方に適用される	4	4	4	4
②	ドキュメントの発行セットが発行される	4	4	4	4
③	ドキュメントの発行セットが発行される	4	4	4	4

※ 野村総合研究所のアンケート結果

「読者」への出会い
私が「読者」記事の執筆に際しては、今や「読者」のニーズが「読者」のニーズ。それまででいた製薬会社から製薬会社に「読者」記事「読者」記事になって、学業時代に執筆と読者に向けている記事(「読者」2018/01/25)

行先情報
Data Standards Strategy FY2018-FY2022 Center

※掲載日・締切等は別途お問合せください。

掲載料金
雑誌1頁+WEB : 480,000円(税別)
雑誌2頁+WEB : 660,000円(税別)

掲載期間
雑誌掲載+WEB(10営業日) 枠数 4枠 / 1ヶ月

【レポート内容】

レポート提出日：配信終了日後5営業日以内

レポート内容：インプレッション数（IMP）、クリック数、クリック率（CTR）

※メルマガ広告は、配信数とクリック数